

Title	第6回ピア・スーパービジョン (Swnet (Seigakuin Welfare Net ~聖学院大学人間福祉学科卒業生を中心とする福祉のネットワーク)・聖学院大学総合研究所 共催)
Author(s)	長澤, 大輔
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.20-3 : 11-12
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2659
Rights	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

SWnet (Seigakuin Welfare Net ~ 聖学院大学人間福祉学科卒業生
を中心とする福祉のネットワーク)・聖学院大学総合研究所 共催
第6回 ピア・スーパービジョン

長澤 大輔

聖学院大学にて第6回ピア・スーパービジョンが行われた。ピア・スーパービジョンとは保健・福祉現場や会社等で対人援助職にある人たちの研修交流会である。「ソーシャルワーカーとしての歩み」という主題による二つの講演の後に、職種ごとに分かれてグループ・ディスカッションを行った。

講演1 「ピアヘルパー制度創設と今」

行實志都子 文京学院大学人間福祉学科准教授

行實氏は、アメリカ訪問中に、急遽、大阪府の要請により、帰国される。精神障害者の支援について、問題・課題を抱えていた大阪府からの勅命を快諾されての帰国となった。常に、現場に携わり、当事者に寄り添い、耳を傾け分け隔てなく関わってきた、現場での高い評価を受けて、大阪府の精神障害者居宅介護支援事業の創設に携われる。

当初は、ヘルパーが来るということに構えてしまう当事者の方々に、安心して身構えずに支援を受けられるようにするため、当事者間の支援体制を作る為、ピアヘルパー（当事者のヘルパー）を育成する制度改革から取り組まれる。最初は、ピアヘルパーとなる当事者の方々が、どのようにすれば、スムーズに受講し、資格を取得できるかを模索され、受講システムなども考案し、負担なく資格取得ができるように、受講時間、休憩時間、休憩場所の確保、受講中の書き取りを補助するボランティアスタッフの動員など、工夫を凝らされた。しかし、蓋を開けてみると、ヘルパー受講者は、積極的に受講され、誰もが意欲的に参加されたという。

そして、事業が試行事業からはじまり現在9年。事業は、順調に機能し、それぞれの当事者が

生きがいやりがいを持ち生活できる場が、地域の中に定着した。行實氏は、今もいろいろなピアの形を見つけながら支援を続けている。

支援の在り方、してあげる支援、上から施される支援。制度という枠組みの中では、支援=型決めの措置というイメージが強い中、本来の支援のあるべき姿を探し続ける行實氏の在り方に感銘を受けた。

講演2 「病院、作業所、そして今」

廣江仁 社会福祉法人養和会障害福祉サービス事業所F&Y境港 所長

廣江氏は、学生時代、実習担当が助川先生であったことから、当時の思い出話や熱心な指導を受けたことをお話され、郷里（鳥取）の『ゲゲゲの鬼太郎』にちなんだお土産を受講生に配りながら、穏やかに講演をされた。

現在の境港市で取り組まれている就労継続支援事業のお話を中心に、三鷹市での「Mew」での就労支援のお話など、とても軽やかに話されていた。慎ましい方で、具体的な、取り組み内容よりも一度お会いすると印象深いお人柄、熱心さ情熱さと、優しさが滲み出るお人柄が印象深い。また、



「ソーシャルワーカーとしての歩み」という主題でふたつの講演が行われた

特に、医療・福祉の先進国でもあるイギリスでも問題や課題を抱えている現状など豊富な知識をお教えくださり、とても勉強熱心な方だということもうかがえた。

グループ・ディスカッション

時間がかかなり限られた中で、PSW（精神保健福祉士）、MSW（医療ソーシャルワーカー）、高齢者福祉、障がい者福祉の4グループで、在校生も交えて話し合われた。参加者も勤続年数など様々で、意見交換がなされた。特段なまとめ、発表の場を設けられなかったが、最後の感想で、幾人かの在校生に感想を聞いた中で、現状を知ってただただ勉強になった、と現場を知って考えさせられた人、意識の高まった人など様々で、今回、初めて、オープンキャンパスともぶつかった為、かなり多くの在校生が加わったが、このような機会を増やし、現役の在職者だけでなく、未来のある在校生の参加の有意義さを改めて感じさせられた。

（ながさわ・だいすけ 福祉関係職を経て現在一般企業勤務 2001年度聖学院大学人間福祉学科卒業生）

（2010年10月16日、聖学院大学4号館4階第一会議室）

19ページのアンケート結果もご覧ください。



グループ・ディスカッションは職種ごとに4グループに分かれた

対人援助の仕事をしている人を支援します

スーパービジョンとは？

スーパーバイザー（熟練のソーシャルワーカー）が経験の浅いソーシャルワーカーに対し、その人の能力を生かし、よりよい実践ができるように支援を行うものです。

<プログラム>

グループ・スーパービジョン

固定グループによる年間プログラム10回
毎月第2火曜日18：30～20：30

場 所：新都心ビジネス交流プラザ聖学院教室*

料 金：年間3万円（卒業生1万円）
次募集は2011年5月からの10回分

個別スーパービジョン

個人の要望に応じた支援を行う。
1回1.5h程度、日時は相談による

場 所：聖学院大学など

料 金：1回6千円（卒業生2千円）

スーパーバイザー支援制度

スーパービジョンを行っている人を支援する。

1回1.5h程度、日時は相談による

場 所：聖学院大学など

料 金：1回 8千円（卒業生5千円）

ピア・スーパービジョン

2011年2月26日(土)13：30～16：30

場 所：新都心ビジネス交流プラザ4階会議室*

料 金：無料

*JR埼京線北与野駅西口ロータリー前
またはJRさいたま新都心駅徒歩10分

連絡先 聖学院大学総合研究所

TEL：048-725-5524

research@seigakuin-univ.ac.jp